

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ポリプロピレンワインドカートリッジ
フィルター
TCW-(05, 08, 1, 3, 5, 10, 25, 50, 75, 100, 150)N
-PP(S, D, T)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名称 : 東洋漉紙株式会社

住所 : 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル5階

担当部門 : 品質保証部

電話番号 : 03-5521-2176

FAX番号 : 03-5521-2177

メールアドレス : trk-hinsho@advantec.co.jp

推奨用途 : 液体の漉過

使用上の制限 : 上記以外の用途にご使用される場合は、
事前にご相談ください。
また、有機溶剤の漉過にご使用の際は、帯
電防止対策のため、ステンレスハウジング
を使用し、アースをとってください。



2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない。

健康有害性 : 区分に該当しない。

環境有害性 : 区分に該当しない。

GHSラベル要素 : なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名 : ポリプロピレンワインドカートリッジ
フィルター

成分及び濃度又は濃度範囲 : ポリプロピレン(フィルター、コア)
(CAS No.9003-07-0)

官報公示整理番号

化審法 : (6)-402 ポリプロピレン

安衛法 : 該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 該当しない。

皮膚に付着した場合 : 該当しない。

眼に入った場合 : 該当しない。

飲み込んだ場合 : 該当しない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水(噴霧)、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。
- 使ってはならない消火剤 : データなし。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : データなし。
- 環境に対する注意事項 : データなし。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火気のそばでの取扱いに注意する。
強酸、強アルカリとの接触を避ける。
- 保管 : 変質を防止するため、直射日光、紫外線、水濡れ、高温、低温、高湿、屋外保管を避けると共に、強酸、強アルカリとの接触を避ける。
3,000kg以上の保存時には、消防法(指定可燃物：合成樹脂類)の適用を受ける。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 日本産業衛生学会 : データなし。
- ACGIH : データなし。
- 設備対策 : 必要に応じて講じる。
- 保護具 : 必要に応じて使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体、筒状のフィルター。
- 色 : 白色。
- 臭い : なし。
- 融点/凝固点 : データなし。
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし。
- 可燃性 : あり。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 該当しない。
- 引火点 : 該当しない。
- 自然発火点 : 該当しない。
- 分解温度 : 該当しない。
- pH : データなし。
- 動粘性率 : 該当しない。
- 溶解度 : 水に不溶。
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし。
- 蒸気圧 : データなし。
- 密度又は相対密度 : データなし。
- 相対ガス密度 : 該当しない。
- 粒子特性 : データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取扱い条件では安定。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 強酸、強アルカリとの接触を避ける。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: 区分に該当しない。
経皮	: データ不足のため分類できない。
吸入：ガス	: データ不足のため分類できない。
吸入：蒸気	: データ不足のため分類できない。
吸入：粉塵、ミスト	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。 (成分として) IARCグループ3(人に対する発がん性は評価できない)に分類されるが、データ不足のため分類できない。 (ポリプロピレン)
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期 (慢性)	: データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壤中の移動性	: データなし。
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する（国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う）。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）。

1.4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報 : 消防法における指定可燃物に該当する。

1.5. 適用法令

化審法	: 既存化学物質 (6)-402 ポリプロピレン
安衛法	: 該当しない。
化管法	: 該当しない。
毒劇法	: 該当しない。
消防法	: 第九条の四(指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準)、危険物の規制に関する政令第一条の十二、別表第四指定可燃物(合成樹脂類。3,000kg 以上は消防法の適用を受ける。3,000kg 未満の場合、物品の貯蔵および取扱いの技術上の基準は市町村条例で定める)。

1.6. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいよう、お願いいたします。

参考文献

- GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
 - GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)
-